三和新報

日刊（除日曜・祝祭日）第188号 平市六丁目三和新報社発行 電話472
支社・支局―東京支局・湯本
支社・内郷支社・小名浜支社　12月13日　（1カ月50円）
（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

人の往来

◇平駅前寿百貨店営業所長中町公平氏はこのほど日興本社へ栄転、後任は山形県鶴岡市の佐藤良造氏

三中敷地拡張協議

平市議会常任委員及び教育委員協議会は十四日午後一時から市役所委員会室でひらき懸案の三中敷地拡張について協議する

成年式協議

常磐社教委

常磐市社会教育委員会は十三日午前十時から公民館でひらき成年式その他について協議した

虚礼を廃止しよう

そろそろどこの家庭でも奥さんは年中行事の一つとして長いきたりのお歳暮、新年の回礼には頭を痛め旦那さんは旦那さんで、いくつも重なる忘年会、新年会に金のやりくりを考えねばならなくなつた

お歳暮の贈りものをしなかつたり、新年会をすっぽかせば「あそこの家は礼儀を知らない」とか「あいつはケチだ」といわれるのが世の常であるから、なおさら心配の種になり、やりくりさんざん、火の車の台所をひつつめてもなんとかしようとするところがその反面、虚礼を廃止しよう、という声が年がら年中聞えてくる、生活の無駄である、というのは理くつでなくしみじみとした声である、しかしいざとなるとお歳暮、新年会にこうでいしてしまう、そこで浮世は辛いと実感する

古河炭鉱では、組合が率先して結婚の簡素化、虚礼の廃止を唱えて好評を博しているが、新年会は会費五十円で一緒にやることをきめ、会社側もまぎつてことをきめ、会社側もまぎつて一度にすませることになつた

新年の挨拶は単に虚礼とばかりはいえまいが、必要以上の経費をはぶくことが、生活というものではあるまいか

石城に一つ新名所

豊間―四倉間ドライブウェイ

四倉から大浦村仁井田浦を経て新舞子海岸の夏井川河口を通り豊間の塩屋崎燈台を結ぶ延長十キロ巾六米の海岸観光道路は去る三月から五カ年計画で石城失対事業所が突貫工事を進めているが、いよいよ十五日大浦村仁井田河口に架設する横川橋の起工式を行うことになつた、この橋は四倉町の井口組が工費九十萬円で請負つた木橋でこれが完成すればとりあえず四倉から新舞子海岸夏井川河口までの観光道路は貫通するわけで失対事業所では市観光課とタイアップして夏井川河口には人は勿論自動車までも運ぶ渡し船、フェリーボートを浮かべて対岸の夏井地区に接続させ将来は工費一億二千萬円で鉄筋コンクリート橋を架ける計画で、これが実現すれば、この海岸観光道路は白砂青松を縫うドライブウェーとして石城名所の一つになるわけである

失対増ワク陳情

沼田内郷市長ら出県

石城郡下の失対事業関係市町村代表内郷市長沼田一夫氏ら六名は、十二日出県、大竹知事と樋口労働部長に①明年一月から三月までの増枠②失対事業は国営または県営でやつて欲しい③越年対策に協力されたい旨を陳情した

土方のケンカ

十一日午後八時半ころ常磐市湯本字天王崎生れ住居不定無職豊田明三さが同市上湯長谷地内路上で顔見知りの同市長倉国興建設湯本出張所土工塩水三郎(三)とはつたり会い「酒をのませろ」と云つたことから大乱闘となり豊田は刃物で塩水の下腹部を突き刺し、塩水もナイフで豊田を滅多切りにして豊田は一カ月、塩水は十五日の重傷を負い常磐署に傷害現行犯で逮捕された

年末年始列車増発

国鉄では年末年始の旅客列車増発を行うがそれにともなう平駅関係次の通り十四日から一月九日まで

◇三二〇九列車（上野―盛岡）―平着十二時三十七分同発十二時四十四分、二十八日から三十一日、四日から十日まで

◇三二一〇列車（盛岡―上野）―平着午後一時三十三分、発一時四十五分

就労ワク考慮

石城失対事務所では年末にともない現在二十一日の就労ワクを予算検討した上二十五日就労実現を考慮していると発表した

団交決裂すればハンスト

戸部系三労組きょう交渉

戸部系の戸部、山崎、小田三炭鉱労組（七百名）は期末手当六千三百円と賃金協定は三炭鉱の統一交渉、また山崎炭鉱の全員解雇予告反対を叫んで戸部社長と交渉していたが妥協案がずついに九日から闘争委員十数名が毎日平市紺屋町戸部営業所前で坐り込み戦術をとりあくまでも要求貫徹の強行方針をたて注目されていたが十三日午後から田畑会長も応援に馳けつけ会社側と団交に入つた、なお団交が決裂すればハンストを行うことに十二日の闘争委員会で決定しており今後の出方が注目される

常磐、磐城、内郷教育長会議

常磐、磐城、内郷三市教育長会議は十四日午後二時から磐城市教育委員会でひらき三十年度予算編成および事務連絡について協議する

国保問題諒解なる

あす平、南赤井合併建設案仮決定か

平市と南赤井の合併は平市の国保が職場保険に加入している被保者の家族を除外しているのに対し赤井は職場保険に加入している家族も認めていることから赤井側は国保の一本化を頑く要望したのに対し平市側は現在でも赤字に悩んでいる国保を一本化してさらに負担が大きくなつては運営上大問題であるとこれに反対しているのがガンとなりさる六日開いた平南赤井合併促進協議会以後進展をみせず十二月県会上程は危ぶまれていたが十一日鈴木赤井村長らが来平して再びこの問題を話合つたところ市側でも理想として将来は一本化したいと含みのある解答をしたので村では十二日村議会を開いて国保問題を協議した結果将来は一本化したいとの市側の妥協案を了承して現案をひつつめ合併を促進する事を満場一致できめ問題は急転直下円満に解決したので十四日午後一時から平市役所で、平、南赤井合併促進協議会をひらき建設案を仮決定、十五日には赤井村、十六日は平市がそれぞれ議会をひらいて合併を決議することになつた

赤井で変死

遊びに行つた内郷の老人

十一日午後九時十五分ごろ赤井村畑子沢金沢交道さん(五三)方同居人菅原勇さん(三〇)が同家に遊びにきていた内郷市白水坂本宗次さん(六三)が変死していると平署に届出たので同署から大内係長らが現場に急行して調べたところ坂本さんは一斗かんに入つていたアルコール性液体を飲み相当酔つぱらつてコロリと死んだことから栄養失調の体に強い刺戟をうけて心臓マヒを起したものとみられている、なお同署では液体の出所を追及している

土地区劃委員決る

平都市計画新川北第一土地区劃整理委員に十一日副口唯一郎、大泉信雄両氏が推選された

常磐に心中白骨

病苦の男と看護婦

常磐炭鉱労組書記農高萩幸男さん(三四)と内郷市宮撮所看護婦佐藤トヨ子さん(三一)の二人で青酸カリ心中をした死体とわかつた

高萩さんは昨年暮から結核で宮診撮所に入院して佐藤さんと恋仲となつたが病気のため結婚できないのを悲観しをものらしく十一日午後三時ころ常磐市勝原字卵所五一地内勝原小学校裏のガケ沼に白骨の男女の死体があるのを同市上湯長谷小野田炭鉱嘱託折笠義政さん(六八)が猟に出かけみつけ常磐署に届出た、調べたところ八月八日かけ落ちして行方不明になつていた賓輪村高野字番所元

湯本三小開校など協議

常磐教育委

常磐市教育委員会は十三日午後一時からひらき二十九年度追加加更を予算、磐城市立鹿島小学校増築湯本三小開校式並びに落成式、戦災遺児慰安などについて協議した

行われる、会費は百八十円で二十日まで市役所総務課に申しこめばよい

平でねずみ駆除映画会

平市ではねずみ駆除月間にちなんで十六日午後六時から三小講堂で①ねずみについて②公衆衛生③ねずみの防止④敵か味方のねずみ駆除映画会を行う、なお二十五日には旧平市内駆除剤ネオメツソを一戸当十六個ずつ分配する

ぱんやさん

それでも足りない

○…検約家として知られる県教委石城出張所行政主任の高杉清寿さんが五日ほど前から巻煙草をパイプタバコに切りかえた、マドロス間違い、敵組石城支部から平二小にかけた怪電話だ、敵組石城支部が七九八番、平二小が八三八であつた

はもつ」とおつしやる、「泣く屋」から「ヤミ屋」へ

○…「モシモシ、ヤミ屋ですが、こちらは泣く屋です、支部長ですが校長さんは居ますか」??、支部長が泣きながらヤミ屋の校長に電話をかけているのかと思つたら大間違い、敵組石城支部から平二小にかけた怪電話だ、敵組石城支部が七九八番、平二小が八三八であつた

クリスマスセール　14日～16日
全店歳暮大売出し
防寒衣料大廉売！
お買得のはんぱ物市半額提供
純毛セーター・カーデガン
純毛紳士トツクリセーター　1,800円の処1,200円
婦人霜降カーデガン　1,500円同1,000円
〃〃リブセーター　1,200円〃800円
〃〃プルオーバー　1,200円〃680円
無地カーデガン(各色)　1,200円〃750円
特別提供婦人セーター　500円
純毛お子様セーター　350圓より
純毛手袋
純毛紳士手袋　200円の処130円
同〃　250円同170円
〃ジヤガード手袋　450円同320円
〃婦人手袋　200円〃130円
〃〃　230円〃150円
〃中児手袋　80円
肌着類
純綿丸首Yシヤツ　170円同100円
スムス女性着　200圓〃170圓
高級裏毛メリヤス肌着類(男女)300圓より
靴下
ナイロン補強純毛殿方靴下　250圓の処170圓
同　230圓同150圓
純綿殿方靴下(2足1組)　90圓
同婦人ソツクス(〃)　80圓
〃子供ソツクス(〃)　60〃
生地
化繊格子　1ヤール　90圓の処50圓
同　80圓同50圓
ドビー横絣　1ヤール　140圓〃90圓
マフラー
純毛紳士マフラー　450圓の処300圓
同婦人〃　250圓同195圓
商品券
全店東京製品
御歳暮用品御用承ります
如何なる数量でも如何なる品物でも直ちにお間に合わせ致します
良い品を本当にお安く
平駅前　寿百貨店　TEL 656 1764

きものと帯の御用命は
かみや
平市二丁目電256

家具と漆器
あるが家具店
平市銀座223番

毛糸
いつも良い品
中野洋品店
平二、電五三

時計と眼鏡　楽器とレコード
日本
ハチヤ時計店
TEL254

平名物
若ひな鳥料理
一人前一五〇円
一羽料理二七〇〇円より
なにか美味しいものを食べたいとお考えの方はい是非御試食下さい
不二屋
平市中央通り　TEL886・1750

冬の服地
おしやれの洋装・明るい正月
高級紳士服地
高級婦人既製オーバー
婦人オーバー地
スーツ地
トツパー地・ワンピース地
御注文受承ります
平専門店会加盟店　平市銀座街
マルエ
TEL265

破滅寸前の白水沢

頼る現金収入は失業保険金たけ

中小炭鉱實態調べ

デフレの波に押し流された小炭礦が全国の話題となつているが、その一つである白水地区について記者の見をままを報告しよう

かつては流行の発生地

常磐炭田開発の祖片寄平蔵が最初に石炭採掘のハンマーを振るつたのは内郷白水川のほとりであつたそれから百年の間に大小の炭礦が栄枯盛衰の歴史をくり返して行つた、終戦後には常磐炭礦川平坑を始めとして十指に余る炭礦が「サワ」と呼ばれるこの附近に活躍し景気の良い唄声は毎夜の如く聞かれたものだつた、平から乗りつけるハイヤーの数も少くはなかつたサワの青年男女が内郷の流行の先端を切つたのもそんなに遠い昔ではなかつた、いま貧困のドン底にあるといわれる入丸炭礦の従業員達もかつて寿炭礦といつた時代はサワの人達をうらやませる程の生活ぶりだつたのである

小学生の半数は失業者の子

サワの住民の分布を一目で見せてくれるのはサワの行きどまりにある白水小学校である、在校生六百名のこの学校は明治卅五年より前に出来たという古い校舎と昨年出来たという新らしい校舎とが列んで建つている、モダンな赤瓦と黒ずんだ屋根とがならぶ釣合のとれぬ様子はそのまま在校生の家庭生活を示しているようである。

在校生の半数三百名は常磐炭礦従業員の子弟で残りの三百名の家庭は失業者が百五十八名、自由労務者六十名、小炭礦従業員約八十名となつている、しかも十二月三日には山崎炭礦が全員解雇を申し出ている、常磐炭礦以外はほとんど失業者の部落になりつつあるサワの生活は暗い、毎月学級費として生徒一カ月一人当り廿円の金を集めているが七十七人の生徒が八月から納めていないという

子供達は「学校に行つてハズかしいから」と泣いて親にセガむが、その日その日の生活に追われるこの人達は払うことも出来ないのである、それでも毎日の弁当だけは何とか都合をつけていると見えて、一週間のうち一日位しか弁当を持つてこない生徒は十九名である。しかし弁当を持つてきてもその生活は決して楽ではない生徒が多いということを常に頭に置いて教育しているという

失保金はそつくり米屋へ

失業保険は働いていたときの収入によつてマチマチだが一日二百円から五百円位の間である、一週間に二千七百円の保険金をもらつている五人家族のある家庭では、保険金をもらうと直ぐに米代としてカリこむ質屋で食いつなぐ未拂賃金待つ家族たち

注目のまとなつている入丸炭礦の住宅に入つて見るとその生活は破滅の一歩手前という感じがハツキリ分る、今年の四月以来満足な賃金も払われず最高四萬円から一万五千円位までの未払賃金があるという、賃金を払つてもらえる時は商店からの借金と質屋通いで食いつないできた、米を買う金がないので一家そろつてオカユをすすりミソをなめてオカズの代りにした、弁当を持つて行けないから昼食抜きだつた、十月になつて十四号台風と同時に入丸炭礦は廃山となつた、失業者となり失業保険をもらつて従業員はホツと安心した、とにも角にも一週間毎に現金が手に入るからである、失業者となつて安心するその心情は察するに余りがある

九百円払い借金のある商店に百円ずつ五百円払つてしまう、少しでも商店に払つておかなければ日用品を買うことが出来なくなるからである、残りの三百円が一週間の夫の煙草銭であり小供の学用費と小遣いである、この失業保険金も来年三月には切れてしまう、そうなれば一銭の収入もなくなることになる、その時はどうしようと主婦達は今から頭を痛めている

ヤマにいてタキ物不足

貯炭の

目の前の炭礦では売れない石炭がハチ切れるばかりに萬石に積まれている、だが失業者である彼等の家庭には燃料とする石炭もない「炭礦にいて石炭に苦労するなんて考えたこともない」と彼等は苦笑しているが、毎日の生活に必要な石炭だけは何とかして手に入れなければならない、彼等はズリ山を掘り川の底をさぐつて毎日の燃料を貯えている、大切なズリ山にも最近は見張りが強くなつてきたから入れなくなつたと彼等は悲しそうだつた

質入品は流れそう

バスに乗つて平に出れば商店は正月の用意の品物をウズ高く積んでいる、しかし彼等にはエンのない物である、そんな品物を買うどころか質屋の蔵の中に入つている小供の着物も出せないのである、五百円の金があれば子供の正月用の着物が受け出せるのに今月は利子も入れられないので流れそうだという主婦もいた、タンスの中にはトラの子の着物もなくボロになつた下着類だけが入つていた「正月あり中にオエキロ、六五キロもだしていたトラック、スクーターなどもあり交通事故が多いところだけに厳重な警告を発した、なお無線器の使用になれないので訓練を行い取締りを徹底すると置つている

撮影展示会

常磐市青文協どんぐりクラブでは二十四日から三日間湯本公民館で撮影展示会をひらく、なお廿四日は午後二時から作品批評会

湯本信用組合臨時総会

常磐市湯本信用組合臨時総会は十九日正午から公民館でひらき決算および事業報告などを行う

勿来川部地区闘争態勢なる

勿来川部地区連合会（会長平井一郎氏組合員百六十一名）では今泉一坑三千五百円、今泉二坑三千五百円、受国炭鉱二千円、今村炭鉱二千円、江藤炭鉱千円の期末手当を要求、会社側に申し入れていたが七日拒否されたので十一日斗争委員会を開き期末手当のほかに現行賃金プラス十%の新給与を要求することになりすでにスト権奪約も終つているので注目されている

美容講習會

常磐市花椿会では十九日午後一時から公民館で美容講習会をひらく蚤生堂から講師を招く

今夜の映画

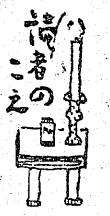
（六一回）

◇発楽館　円卓の騎士　思い出　夜六、三五分
◇世界館　馬賊芸者　満月狸ばやし　龍虎八天狗一部　夜六、十六分
◇平館　何処へ　仇討珍剣法　鉄火面一部　夜六、〇〇
◇民劇　唄ごよみお夏清十郎　あんみつ姫一部　愛　夜五、五五分
◇ひかり座　雨に濡れた欲情　赤いベレー　夜六、四〇分
◇第二いわき（十三―十六）花の白虎隊　緑の仲間　三月童子　第二部
◇つづら映劇（十二―十四）セロひきのゴーシュ　次郎物語　君死給うことなかれ

多いスピード違反

内郷署では此程午後七時から同九時まで携帯無線器をつかい共立病院から沼田製材店まで六号国道約千米間の交通取締りを行つたところ夜間制限速度三五キロ以上のスピードをだしていたものが八人もあり中にオエキロ、六五キロも

国民たすけ合い運動を起せ



今年も労組の年末攻勢が激しくなり官公庁は二カ月分の期末手当を要求して華やかな闘争を行つているがドン底生活に追いこまれている中小企業の従業員は闘争どころか月給も満足にもらいないのにその税金で生活している公務員が二カ月分も手当をよこせというのは間違つていると思う、もちろん同じ労働者として諸君の要求に全面的な反対をするものではないが炭鉱はじめ各方面に食えない人が多くなつているのに自分たちだけの利益を狙い、しかも大衆に迷惑をかけるのは公務員の本道をふみはずした行為ではないか、このさい全日本の労働者を一丸とした国民挟け合い運動を起すべきではないか（内郷市内町　山崎生）

結核療養所
給食設備完備
結核予防法指定医
呼吸器科
後藤内科
本院　平市古鍛冶町　電一、〇三六
病室　平市月見町五八　電二、一三八

心よい味と香りの店
喫茶・洋食
スペシャルコーヒー
シスユウマイ
レストラン
パール
平市三田小路電一三八八
社長金子松男

クリスマスプレゼント
お歳暮贈答用
腕時計・置時計・ラジオ
オルゴール・アイロン・電気スタンド
レコード・万年筆
金光堂
平5　TEL195

ミシンはハッピイ
緑の小山で

御宮
橋本神佛具店
平市新川町
電一九四八

文
電1891
夜間313
紙製品
文具・紙
部売卸堂文魁

衛生協同組合
設立御挨拶
今般特別都市清掃法の実施にあたり市当局の御指示にもとずき平地区衛生協同組合を設立、正式に認可を受けました。
就いては市衛生向上のため粉骨砕身の努力を致します故よろしく御指導御鞭たつを偏に願い上げます
理事長　岡八時
平地区衛生協同組合
平市九品寺前（仲間町踏切そば）
電話一四二八番

クリスマス・お歳暮御贈答用に
御利用下さい
全国地方発送受承ります
平餅販売取扱店
常磐市……市役所入口……要屋
勿来町……駅　前……安島商店
平餅
御菓子司
松月堂
平市銀座　街電206

科学的
検眼
レフラクトメーター設備
乱視レンズ即日調製致します
眼鏡専門　松本
平市一・電一八五一

どこよりも品質の良い
どこよりもうまい
どこよりも安い
平凡のお菓子
御祝儀に
御法事に御利用下さいませ
六段羊羹
平駅前
六段本舗
電五〇九

常磐市湯本温泉
バーモナミ
湯本座前

スポーツ用品と服装
マエダ運動具店
常磐炭礦指定
常磐市湯本横町
電（常磐）四五二

性病
皮膚病科
平市古鍛冶町（県社下）
矢吹医院
電話一、一九三番

福島県土産品コンクール壱等賞受賞
銘菓
いわき八景
桃の井
平市一丁目
金沢屋
電327